2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社高見沢サイバネティックス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6424	URL	https://www.tacy.co.jp
代　　表　　者　（役職名）	代表取締役社長 社長執行役員	（氏名）	高見澤　和夫
問合せ先責任者　（役職名）	取締役 常務執行役員管理本部長	（氏名）	高橋　利明　　(TEL) 03-3227-3361
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,246	△25.6	△497	―	△509	―	△337	―
2026年３月期中間期	5,710	△21.0	35	△94.6	34	△94.6	31	△92.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　　△244百万円（　　―%）　　2026年３月期中間期　　114百万円（△70.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△79.83	―
2026年３月期中間期	7.26	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	15,762	6,068	38.5
2026年３月期	16,397	6,619	40.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　　6,068百万円　　2026年３月期　　6,619百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	23.00	23.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	23.00	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,330	11.1	770	24.5	740	23.4	520	4.7	118.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,525,000株	2026年３月期	4,525,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	353,432株	2026年３月期	126,432株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,226,147株	2026年３月期中間期	4,398,568株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結キャッシュフローに関する定性的情報 …… 2
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 4
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いた一方で、物価上昇の継続や中東情勢を巡る地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境のもと、当連結グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の各部門において営業活動を展開してまいりました。当社グループは、第４四半期に売上が集中する傾向にありますが、当連結会計年度は例年以上にその傾向が強い計画となっております。特に前期はホームドア、自動券売機・自動精算機等の出改札機器、及び防災計測システムにおいて第１四半期より進捗が出始めておりましたが、当期は第３四半期以降に計画されているため、前年同期比で売上が減少いたしました。なお、計画に対する進捗は、各機器部門とも概ね予定どおりに推移しております。

当中間連結会計期間の売上高は42億４千６百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

損益面につきましては、営業損失４億９千７百万円（前年同期は３千５百万円の利益）、経常損失５億９百万円（同３千４百万円の利益）、また、繰延税金資産の積増しにより法人税等調整額を１億７千８百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純損失は３億３千７百万円（同３千１百万円の利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当中間連結会計期間末における総資産は157億６千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億３千５百万円減少いたしました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産の減少23億９千６百万円、仕掛品の増加８億４千３百万円、のれんの増加３億３千４百万円、投資その他の資産の増加３億４千９百万円等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は96億９千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ８千３百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金の増加３億６千３百万円、支払手形及び買掛金の減少１億５千２百万円、未払法人税等の減少１億６百万円、賞与引当金の減少１億４千５百万円等によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は60億６千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億５千１百万円減少いたしました。これは、主に自己株式の増加２億１千６百万円、利益剰余金の減少４億３千８百万円によるものです。

（３）連結キャッシュフローに関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ５億５千５百万円減少して、21億８千１百万円(前中間連結会計期間末は24億７千４百万円)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果により獲得した資金は、１億２百万円(前中間連結会計期間は10億５千１百万円の獲得)となりました。これは、主に売上債権及び契約資産の減少額24億５千４百万円、棚卸資産の増加14億５百万円、税金等調整前中間純損失５億９百万円、法人税等の支払額９千７百万円等によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果により使用した資金は、６億１千９百万円(前中間連結会計期間は９千２百万円の使用)となりました。これは、主に事業譲受による支出４億５千４百万円、有形固定資産の取得による支出５千７百万円、無形固定資産の取得による支出１億１千５百万円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果により使用した資金は、３千８百万円(前中間連結会計期間は13億１千４百万円の使用)となりました。これは、主に短期借入金の純増加額３億６千３百万円、自己株式取引による純支出２億５百万円、配当金の支払額１億１百万円等によるものであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

通期予想につきましては2026年5月14日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記
（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,737,153	2,181,267
受取手形、売掛金及び契約資産	4,824,448	2,427,460
電子記録債権	237,166	179,254
商品及び製品	638,239	953,356
仕掛品	679,617	1,523,018
原材料及び貯蔵品	1,377,880	1,690,007
その他	215,110	372,994
貸倒引当金	△4,617	△2,340
流動資産合計	10,704,998	9,325,019
固定資産		
有形固定資産	2,636,794	2,609,368
無形固定資産	665,334	753,492
のれん	―	334,289
投資その他の資産	2,390,788	2,740,677
固定資産合計	5,692,917	6,437,827
資産合計	16,397,915	15,762,847
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,145,061	992,079
電子記録債務	150,231	378,193
短期借入金	2,545,000	2,908,000
未払法人税等	121,215	15,067
賞与引当金	492,644	347,392
受注損失引当金	243,324	241,899
その他	847,580	613,702
流動負債合計	5,545,058	5,496,335
固定負債		
社債	1,550,000	1,550,000
長期借入金	220,000	190,000
退職給付に係る負債	1,996,715	2,020,444
株式給付引当金	―	3,217
役員株式給付引当金	―	684
長期未払金	52,872	51,702
資産除去債務	51,442	51,023
その他	362,495	331,392
固定負債合計	4,233,526	4,198,464
負債合計	9,778,584	9,694,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,700	700,700
資本剰余金	722,424	733,688
利益剰余金	4,582,039	4,143,499
自己株式	△96,962	△313,661
株主資本合計	5,908,201	5,264,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469,409	595,822
退職給付に係る調整累計額	241,720	207,998
その他の包括利益累計額合計	711,129	803,820
純資産合計	6,619,330	6,068,047
負債純資産合計	16,397,915	15,762,847

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	5,710,448	4,246,830
売上原価	4,150,149	3,209,827
売上総利益	1,560,298	1,037,002
販売費及び一般管理費	1,524,351	1,534,028
営業利益又は営業損失（△）	35,947	△497,026
営業外収益		
受取利息	1,028	1,696
受取配当金	25,608	24,434
不動産賃貸料	7,440	7,440
その他	5,660	2,783
営業外収益合計	39,737	36,355
営業外費用		
支払利息	17,763	28,636
社債利息	10,012	10,025
不動産賃貸費用	12,522	9,782
その他	437	273
営業外費用合計	40,736	48,718
経常利益又は経常損失（△）	34,948	△509,389
特別損失		
固定資産除却損	1,081	376
特別損失合計	1,081	376
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	33,867	△509,765
法人税、住民税及び事業税	13,301	5,912
法人税等調整額	△11,371	△178,305
法人税等合計	1,929	△172,392
中間純利益又は中間純損失（△）	31,937	△337,372
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	31,937	△337,372

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	31,937	△337,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,706	126,412
退職給付に係る調整額	△31,280	△33,721
その他の包括利益合計	82,426	92,690
中間包括利益	114,363	△244,681
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	114,363	△244,681

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	33,867	△509,765
減価償却費	182,425	186,952
のれん償却額	―	11,527
賞与引当金の増減額（△は減少）	△104,903	△145,251
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△9,030	23,729
株式給付引当金の増減額（△は減少）	―	3,217
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	―	684
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△14,148	△2,255
受取利息及び受取配当金	△26,637	△26,131
支払利息	17,763	28,636
社債利息	10,012	10,025
固定資産除却損	1,081	376
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	2,565,712	2,454,899
棚卸資産の増減額（△は増加）	△280,653	△1,405,170
仕入債務の増減額（△は減少）	△475,592	58,040
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△10,032	△1,424
その他	△611,213	△472,659
小計	1,278,650	215,429
利息及び配当金の受取額	26,592	26,193
利息の支払額	△27,243	△41,715
法人税等の支払額	△226,696	△97,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,051,302	102,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,640	△2,861
有形固定資産の取得による支出	△64,473	△57,337
無形固定資産の取得による支出	△21,391	△115,982
事業譲受による支出	―	△454,576
その他	△3,522	10,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,028	△619,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,127,000	363,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
リース債務の返済による支出	△68,086	△65,212
配当金の支払額	△87,971	△101,167
割賦債務の返済による支出	△1,585	―
自己株式の取得による支出	―	△433,765
自己株式の処分による収入	―	228,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,314,643	△38,814
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△355,368	△555,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,829,879	2,737,153
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,474,510	2,181,267

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式227,000株の取得を行いました。また、2026年8月10日開催の取締役会決議に基づき、8月25日「株式給付信託（J-ESOP）」制度及び「株式給付信託（BBT）」制度を導入・自己株式の処分を行い、金銭債務の信託先であるみずほ信託銀行株式会社が当社株式253,700株の取得を行っております。その結果、当中間連結会計期間において自己株式が216,699千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が313,661千円となっております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（原価差異の繰延処理）

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産「その他」として繰り延べております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年４月１日　至 2025年９月30日)及び当中間連結会計期間(自 2026年４月１日　至 2026年９月30日)

当連結グループは、電子制御機器の製造販売及びこれら付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。